

日本共産党鶴岡地区委員会
委員長 五十嵐貞子

2021年鶴岡市長選挙についての提案

下記について、日本共産党鶴岡地区委員会との間で、確認を取り交わすよう要請します。

<基本的政策>

1. 新型コロナウイルス対策について、保健予防、医療、介護、検査、保育、教育等の確保、並びに商工・農林水産業、文化活動等の補償に努めること。
2. 市民の命と暮らしを守る包括的な医療・介護・福祉体制構築を、市民負担軽減に努めながら推進すること。
3. 農林水産業、地元企業・協同組合などを地域経済の基盤として重視し、地域内の経済循環を豊かにする経済政策を進めること。家族経営・中山間地農業を大切にし、農林水産業に関連する生産額の拡大と所得の向上を図ること。
4. 経済的負担の軽減など子育てを支援し、子どもが生き生きと学び、将来に希望を持てる施策の充実に努めること。
5. 災害に強い町づくりを進めること。
6. 再生可能エネルギーについて、環境保全を図り、市民合意を前提に、地元組織による地域産業として発展させること。エネルギー自給を高め、原発に依存しない社会をめざすこと。
7. 合併がもたらした市民生活への影響を直視し、まちづくり振興基金充実に始めとして旧町村予算を拡充するとともに住民の声の反映を進めること。近隣自治体とは、対等平等、相互協力の関係を発展させること。
8. 慶応大学先端生命科学研究所の支援について、地域経済振興と雇用拡大という当初の目的に照らしてあり方を引き続き検討し、成果に見合った支援に見直していくこと。
9. ジェンダー平等をあらゆる分野で推進すること。

<政治姿勢>

10. 市政運営への市民参加を制度として充実させ、政策検討段階からの情報公開、市民参加での議論、公平・公正な意志決定が図られるよう努力すること。地域づくりのための市民の自主的活動、協同組合や NPO など非営利で地域貢献に資する組織の役割を重視すること。

11. 憲法九条の理念に基づいて、戦争体験の継承と平和の大切さを語り広げ、外国とも平和・友好の輪を広げること。平和な鶴岡を将来世代に手渡すために努力すること。

12. 非正規雇用の拡大や、社会保障縮減、庶民増税など、格差と貧困の拡大に繋がる国の施策には組みせず、市民の暮らしを守るための施策に全力を尽くすこと。

13. 市民サービスの担い手である市職員の声をよく聞き、職員の自主性と創意を尊重して、行政水準の向上に努めること。

<相互協力>

基本政策の実現と選挙勝利のために下記の協力をおこなうこと。

- 1) 皆川治氏は、自身を支持・支援する他の市議候補と日本共産党の市議候補を平等に扱うこと。
- 2) 市長選挙の基本組織においては、日本共産党も他の団体・個人と対等・平等に参画すること。
- 3) 個別の政策は、基本政策実現の立場から策定していくこととし、今後とも協議を重ねること。

以上